

数理・物性構造科学専攻 博士課程前期

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシー達成のため、以下の講義科目、演習科目並びに特別研究を置き、学位論文を課す。括弧内はそれぞれのカリキュラム・ポリシーが対応するディプロマ・ポリシーを示す。

- CP1 数学・物理学・情報科学の研究を遂行するうえで基礎となる専門知識を修得できる体系的なカリキュラムを作成する。(DP1、DP2、DP5)
- CP2 数学・物理学・情報科学の各分野の先端知識が学べるゼミやセミナーを定期的で開催する。(DP2、DP7、DP8、DP9)
- CP3 専門分野に関する学修の着実な進展を図るために指導教員との密接なコンタクトがとれる体制を構築する。(DP3、DP4、DP6)
- CP4 適当な区切りでの学修成果のまとめと報告発表による適切な判断力を養成する。(DP3、DP4、DP6)
- CP5 幅広い分野への興味を喚起するための全員参加のセミナーを置く。(DP1、DP2、DP3、DP7、DP9)
- CP6 他分野のセミナーや学会等への参加を奨励する。(DP5、DP8)
- CP7 論文発表のみならず中間発表等適切な区切りを設けて発表会を開催することによる表現力の向上を目指す。(DP4、DP7、DP8、DP9)